

日大生のやってみたいを実現するプロジェクト成果報告書

2022010

プロジェクト名 NU SDGs Project.

プロジェクトの概要

本プロジェクトは体験を通し、『SDGs』の認知や理解を深めてもらうためのものである。大学構内にスタンプラリースポットを複数設置し、各スポットでSDGsに関する情報をインプットした上で、アウトプットとしてクイズに正解すると電子スタンプが獲得できる仕組みとなっている。条件数スタンプを獲得すると、環境保護グッズとして「エコバッグ」をガチャを回すことで獲得することができる。開催期間は2ヶ月間で、述べ440名の方が参加し、社会問題を身近に考える「きっかけ作り」に貢献することができた。

プロジェクトの結果・成果

本プロジェクトの成果としては、2ヶ月の開催で440名の方が参加し、SDGsへの理解を深めた。主な対象は学生であるが、開催期間中に実施のあったオープンキャンパスや学園祭では、来校者にも参加していただいた。参加していただいた年代層に着目すると、高校生含む10代をはじめ、30代、40代、50代、更には60代以上の方々にも参加していただき、SDGsは特定の年代だけでなく、幅広い年代で興味・関心があることを認識することができた。満足度としても、「満足した」の割合が8割を超え、一定の成果のあったイベントであったといえる。メインターゲットである学生に関しては、プロジェクト期間中に実施した意識調査（SDGsについてどの程度関心があるか）にて、「関心がある」と回答した学生の割合が7割を超えるなど、想像以上に関心を持つ学生が多いことを認識することができた。前述のように、SDGsへの関心がある学生が多い環境の中で、より具体的な情報や実行可能なアクションを発信することができたのは、本プロジェクト最大の意義であり、より多くの人に社会課題を「自分ゴト化」する重要性を伝えることができたと考える。プロジェクトのコンテンツに関しては、企画段階から、学生の興味を惹く複数の「仕掛け」を捻出し、大学構内でのガチャ設置やスタンプラリースポットなど、参加する学生の「楽しい」を実現するべく、一方的な利益の追求ではなく双方の利益の追求に注力することができた。その他の成果としては、団体として大学広報の取材を受け、広報動画に出演させていただくなど、学外に対しても私達の取り組みを発信することができた。総じて、本活動では、当初の私達の目的であった「自分ゴト化」の重要性を広く発信することができた、大変貴重な機会であった。今後も、新たな取り組みを実現するべく、挑戦を続けていきたい。

活動写真

